

# CSR Report 2019

Corporate  
Social  
Responsibility



トランテックス

CONTENTS

トップメッセージ	01	人材育成	15
会社概要	02	<b>環 境</b>	
事業紹介	04	環境マネジメント	16
ステークホルダーエンゲージメント・ビジネスモデル	07	環境パフォーマンスデータ	20
環境配慮商品	08	事業活動と環境影響	21
<b>お客様</b>		<b>調 達</b>	23
お役立ちメニューの紹介	09	<b>社会貢献活動</b>	24
品質マネジメント	11	<b>コンプライアンス</b>	25
アフターサービス	11	<b>コーポレートガバナンス</b>	26
<b>従業員</b>			
雇用促進	12		
安全衛生・労使関係	14		



# トップメッセージ



株式会社トランテックス  
代表取締役社長

原田 泰彦

トランテックスはトラックボデーメーカーとして各種ボデーを開発・設計・製造・販売し、最適輸送・最適物流の実現を目指し未来社会の発展に向けて取り組んでいる中で、多くのお客様に支えられ企業として成長してまいりました。これからも歩みを止めず将来に向かって更に成長するため、国内・国外で新たな事業展開を行っていきます。国内では生産能力向上のため日野自動車古河工場構内に新工場の建設を計画し2021年度内での生産開始準備を進めており、本社工場との生産2拠点化により一層効率的なもののづくりを進めてまいります。そして、これまでは国内市場中心の対応でしたが、成長著しい東南アジアへの進出を視野に海外進出を進めており、本年、タイ・バンコクに駐在員事務所を設立し具体的なグローバル展開を開始いたしました。

また弊社は国内・国外で新しい取り組みをスタートさせながら、一方で環境への配慮も積極的に進めていく必要性を認識しています。商品としてはモデルチェンジに際してボデーの軽量化等を進めていることはもちろん、近年では燃費改善ボデーの開発・販売を実施しています。また、日野自動車グループの一員として「日野環境チャレンジ2050」に沿った取り組みも行っています。ビジネスのあらゆる過程における「CO<sub>2</sub>排出ゼロチャレンジ」など非常に高い目標となっていますが、日野自動車とともに持続可能な社会における持続的発展に向けた活動を推進していきます。

また、企業の持続的な発展のためにコンプライアンス経営とステークホルダー（お客様、仕入先様、近隣住民、従業員等）の期待にお応えする姿勢も重視しています。コンプライアンスに対しては様々な機会を利用して役員・従業員の意識向上のために継続的な取り組みを行っています。お客様に対しては当社の商品をお届けするだけでなく、当社ならではのサービス・情報提供でお客様の困りごとを解決させて頂くなど、お客様の頼れるパートナーであり続けます。お客様の困りごと解決には弊社独自のお役立ち活動メニューを積極的にご案内し、その内容もお客様のニーズに合わせて改善しています。仕入先様に対しては適時適切な情報展開により良好なビジネス関係を維持していきます。そして地域との共存に向けては清掃活動や地域懇談会などを通じたコミュニケーションを継続するとともに、工場周辺の環境影響の最小化にも努めていきます。そして従業員に対しては様々な立場の方がより安心して働ける職場環境の提供し、ゼロ災害に向けた取り組みの継続はもちろん、多様で安定的な雇用や子育て時の休職・職場復帰等の就労継続環境の確保を行っていきたくと考えております。

# 会社概要

## 株式会社 トランテックス

- 本社・工場所在地 石川県白山市徳丸町670番地
- 設立 1930年3月
- 創立 2002年10月
- 資本金 11億円
- 従業員数 1,263名
- 製品 トラックボデー、特殊車両
- 販売拠点  
東北営業所  
北関東営業所  
首都圏営業所  
北陸営業所  
東海営業所  
関西営業所  
中・四国営業所  
九州営業所  
特販営業部  
バンコク駐在員事務所



本社・工場全景  
敷地面積 103,289㎡ 延床面積 50,011㎡

### 主要製品



ウイングシリーズ



バンシリーズ



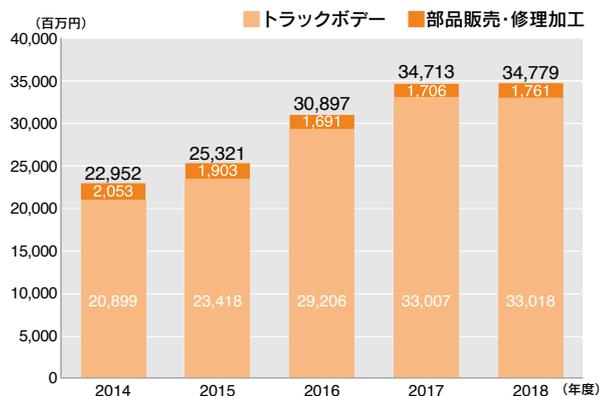
ブロック煽シリーズ

### トランテックス基本理念

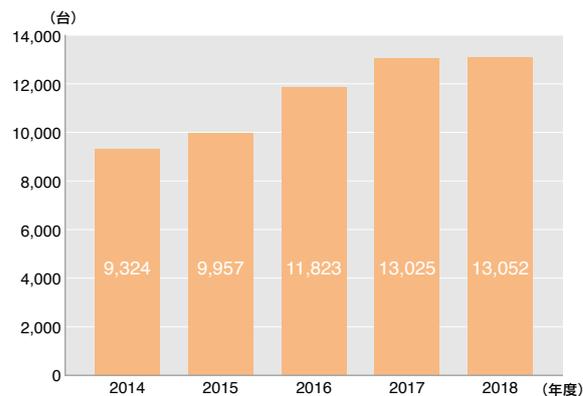
基本理念は会社の使命と基本方針からなり、私たちトランテックスが社会の中で存在する意義、社会に対して果たすべき責任や方針を明確にしております。

- 会社使命**
  - 地球環境に配慮し、輸送文化を創造し、未来社会に貢献する
  - お客様に信頼され、頼れるパートナーとして輸送・物流をリードする
- 基本方針**
  - 人と地球環境に配慮し、社会とのつながりを大切にする
  - 常に技術革新に努め、お客様のお役に立つ商品やサービスを提供する
  - 変化を的確に捉え、社会との調和を図り、グローバルな視点で事業展開を行う
  - 社員の能力を最大限に発揮し、プロ集団としての総合力を高める

## 売上高推移



## トラックボデー生産台数推移



## 決算の要旨 (2018年度末)

### 貸借対照表

単位：百万円未満切り捨て

科目	金額	科目	金額
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	<b>14,816</b>
流動資産	14,215	流動負債	12,063
固定資産	8,355	固定負債	2,753
有形固定資産	6,235	<b>純資産の部</b>	<b>7,753</b>
無形固定資産	280	株主資本	7,237
投資その他の資産	1,839	評価・換算差額金	516
<b>資産合計</b>	<b>22,570</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>22,570</b>

### 損益計算書

単位：百万円未満切り捨て

科目	金額
<b>売上高</b>	<b>34,779</b>
売上原価	30,266
<b>売上総利益</b>	<b>4,513</b>
販売費及び一般管理費	2,712
<b>営業利益</b>	<b>1,801</b>
営業外利益	82
営業外費用	4
<b>経常利益</b>	<b>1,878</b>
特別利益	5
特別損失	8
<b>税引前当期純利益</b>	<b>1,876</b>
法人税・住民税及び事業税	545
法人税等調整額	△ 10
<b>当期純利益</b>	<b>1,341</b>

# 事業紹介

大・中・小型のトラックボデーを開発・設計・製造・販売し、アフターサービスとしてリニューアル工事や部品販売を行っています。

## トラックボデー生産

### ■大型車シリーズ

長距離、大量輸送に欠かせない大型シリーズです。積載量重視型、容積重視型、専用輸送型など、おすすめ仕様のほか、用途に合わせた最適ボデーをご提案いたします。

#### ドライバン



ハイスター・バン (ハイスライダー付)

#### 冷凍バン



ハイスター・冷凍

#### フラットパネル冷凍バン



ハイスター・冷凍

#### ドライウイング



ハイウイングMAX

#### 冷凍機付ウイング



ハイウイングMAXクール (冷凍機付)

#### 冷凍ウイング



ハイウイング・コールド“S”

#### 幌ウイング



ワンタッチ幌 (手動式)

#### ブロック煽り



ハイブロック

## ■中型車シリーズ

配送から長距離輸送まで、あらゆるシーンで活躍する中型車シリーズです。軽量タイプや、おすすめ仕様のほか、用途に合わせたボデーをご提案いたします。

### ドライバン



ハイスター・バン

### 冷凍バン



ハイスター・冷凍

### フラットパネル冷凍バン



ハイスター・冷凍

### フラットパネル冷凍バン



ハイスター・冷凍 (床下格納式リフター付)

### 冷凍機付ウイング



ハイウイングMAXクール (冷凍機付)

### ドライウイング



ハイウイングMAX

### 幌ウイング



ワンタッチ幌 (手動式)

### ブロック煽り



ハイブロック

## ■小型車シリーズ

市街区の集配から中・近距離輸送に最適、機敏な小型車シリーズです。

### ドライバン



ハイスター・バン

### フラットパネル冷凍バン



ハイスター・冷凍

### ドライウイング



ハイウイングMAX

### ブロック煽り



ハイブロック

## リニューアル・部品販売

ボデーの載せ替え、キャブ・ボデー塗装、リア扉外板張替え、デザイン文字製作等や修理・ドレスアップ用の部品販売を行っています。

## ■ドレスアップ部品の一例

### 【アルミ製及びステンレス製サイドガード】



アルミ角パイプ型



ステンレス丸パイプ型



ステンレス角パイプ型

### 【煽り中間部ウイングロック】



オールステンレス製



BOX本体のみ  
ステンレス製

# ステークホルダーエンゲージメント

## ステークホルダーとの関わり

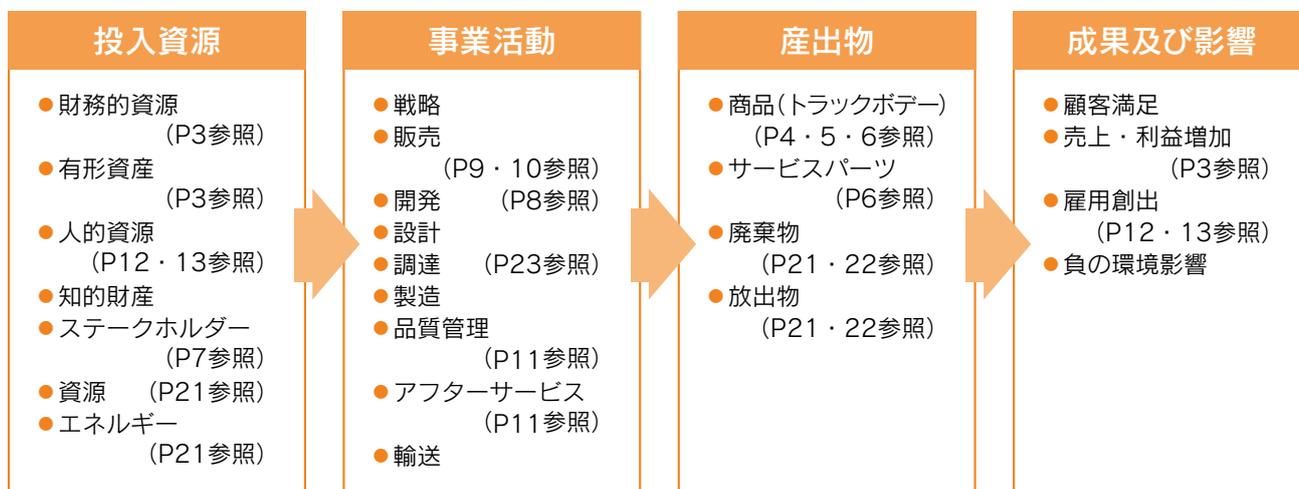
当社はお客様、仕入先様、従業員、地域社会を重要なステークホルダーと位置づけ、それぞれと良好な関係を維持することが安定的・持続的な成長には不可欠であると認識し、担当部署を中心に積極的なコミュニケーションを図っています。

ステークホルダー	重要な課題	コミュニケーション手段	参照頁
お客様	環境配慮商品の提供、お客様に役立つ情報提供、品質保証	●営業活動 ●お役立ち活動メニューの提供	P9・10
仕入先様	より良いパートナーシップに向けた適時・適切な情報共有	●仕入先会議（毎月） ●仕入先総会（年1回）	P23
従業員	労働安全衛生の推進、人材の積極採用・育成、処遇改善	●社内報 ●研修 ●安全衛生委員会	P14・15
地域社会	環境保全	●地域懇談会（年1回） ●社会貢献活動（ボランティア清掃（原則毎月）、海岸清掃（年1回））	P24

## ビジネスモデル

### ビジネスモデルの概要

下図は当社のビジネスモデルの概要について「投入資源」・「事業活動」・「産出物」・「成果及び影響」に分けて表現したものです。当社は持続的に価値を産み出す仕組みを維持・改善し、基本理念に掲げる「地球環境に配慮し、輸送文化を創造し、未来社会に貢献する」「お客様に信頼され、頼れるパートナーとして輸送・物流をリードする」企業を目指していきます。



# 環境配慮商品

## 環境配慮商品の開発

当社では環境に配慮した商品として高積載を実現している大型・中型ウイングボデーや低燃費を実現している空力改善ボデーを提供しています。

### ■ウイングボデー

益々高まる高積載ニーズに対し、現行モデルは従来モデル比約100kgのボデー軽量化を実現し積載量がアップしているだけでなく、品質向上、安全性や使い勝手、メンテナンス性にもこだわって開発しています。



#### 【従来モデルからの主な変更点】

##### アルミ型材製の サイドエンド

アルミ化による軽量化と溶接レス構造化で歪みがなく、防錆力もアップ。



##### 樹脂製ハ型 フェンダー

樹脂化による軽量化と、欧州トレンドのデザイン採用による外観品質を向上。



### ■空力改善ボデー

テーパー付後構造の採用により走行時の空気の整流化を図り空気抵抗を大幅に低減し、低燃費の実現を図っています。また、後扉に一体型ヒンジを採用しています。

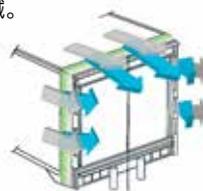


ボデー後方の空気の流れを改善し空気抵抗を低減

#### 【主な特徴】

##### 空力改善構造

荷台後端部の3方に角度をつけることで渦が出来る空域が狭くなり、空気抵抗が低減。



通常の構造  
空力改善構造

##### 一体型Wヒンジ

荷役作業中の冷気漏れ防止やシェルターラバーの傷つき防止も実現。



# お客様

## お役立ちメニューの紹介

営業部門は本業であるポデー販売はもちろん、お客様の様々なご要望・お悩みにお応えし、お客様の本業の発展に少しでも貢献させていただきたいと考え、「お役立ち活動」を行なっています。「お役立ち活動」の一環で、お客様に当社の持つノウハウをご提供させていただく「お役立ちメニュー」は18種類をご用意させていただいております。

冷凍バンの取扱について	ウイングの取り扱いについて
<p>◆メニューのねらいどころ 冷凍バンに不慣れなトラック乗務員による事故や不具合が心配というお客様の問題解決のお手伝いをします。</p>  <p>◆内容 予冷や庫内換気、日常点検等冷凍バンをお使いになる際の基本的な注意点をご説明いたします。</p> <p>◆実施要領 ①受講対象者：トラック乗務員(特にアルバイト乗務員等不慣れな方) ②所要時間：20～30分 ③場所：会議室等 ④実施人数：数名から実施いたします。</p> <p>◆効果 冷凍ポデーの使い方を理解いただく事で安全で無理、無駄のない運送を行う事ができます。</p>	<p>◆メニューのねらいどころ ウイング車の事故、修理でお悩みのお客様へご提案いたします。</p>  <p>◆内容 開閉操作や荷物の積み方など、ウイングをお使いになる際の基本的な注意点をご説明します。</p> <p>◆実施要領 ①受講対象者：トラック乗務員 ②所要時間：20～30分 ③場所：会議室等 ④実施人数：数名から実施いたします。</p> <p>◆効果 ポデーや積荷の損傷を防ぎ、安全安心な運行が可能となります。</p>
車輦後退時の安全確認講習	テールゲートの安全操作
<p>◆メニューのねらいどころ 車輦後退時の事故が心配、又はトラック乗務員への安全教育を考えているお客様へご提案いたします。</p>  <p>◆内容 バックミラーの死角やバックカメラのモニター映像の特性についてご説明します。</p> <p>◆実施要領 ①受講対象者：トラック乗務員 ②所要時間：20～30分 ③場所：車輦での説明 ④実施人数：数名から実施いたします。</p> <p>◆効果 事故を防ぎ、修理費の低減へつなげる事ができます。</p>	<p>◆メニューのねらいどころ ゲート操作中の事故が心配、又はトラック乗務員への安全教育を考えているお客様へご提案いたします。</p>  <p>◆内容 事故事例を紹介しながら操作する際の注意点、ゲート装着車の特性を説明します。またゲートを操作しながら操作及び点検方法を説明します。</p> <p>◆実施要領 ①受講対象者：トラック乗務員 ②所要時間：80分 ③場所：会議室及び現車 ④実施人数：数名から実施いたします。</p> <p>◆効果 ゲート操作時の事故を減らす事ができます。</p>

### (上記以外のお役立ちメニュー)

- 冷凍バンでの品質管理について
- ウイングへの安全な荷積みについて
- 荷卸し作業KYT
- リヤポデーお手入れ方法のご提案
- コンプライアンス講習
- 冷凍ポデーのメンテナンス
- ウイングポデーのメンテナンス
- トランテックス安全管理手法のご紹介
- トランテックス改善事例のご紹介
- 体調管理講習
- 冷凍車の商品知識
- ロールボックス輸送の注意点
- ラッシングベルト使用時の注意点
- 乗務員様マナー研修

【お役立ち活動実施事例のご紹介】

【関西営業所】

- 実施先：運送会社様
- 実施内容：コンプライアンス講習
- 参加人数：30名
- 参加者の声

「個人の身勝手な行動が会社全体に迷惑を掛ける事が改めて認識できました。スペアタイヤ、工具箱等の決められた日常点検を行うことの重要性が改めて分かりました。」



【首都圏営業所】

- 実施先：運送会社様
- 実施内容：冷凍バンでの品質管理講習
- 参加人数：16名
- 参加者の声

「保冷カーテンの重要性を知りました。誰も教えてくれないので、今日の講習は助かりました。」



【東海営業所】

- 実施先：運送会社様
- 実施内容：ウイングポデーの取扱いについて  
ウイングポデーへの安全な荷積みについて
- 参加人数：50名
- 参加者の声

「実際のウイング開放時の全高や開閉時はみ出し幅が具体的な数値で表されていて分かり易かったです。またラッシングベルトの固定方法及び片荷状態の危険性なども事故事例を挙げて頂き具体的に実感でき、ためになった。」



【東北営業所】

- 実施先：運送会社様
- 実施内容：ウイングポデーのメンテナンスについて
- 参加人数：2名
- 参加者の声

「ポデーを長く使用するためのポイントを理解することが出来ました。日々の取り扱いに気を付け、メンテナンスも心掛けていきたいと思います。他の支店のドライバーへ展開してみます。」

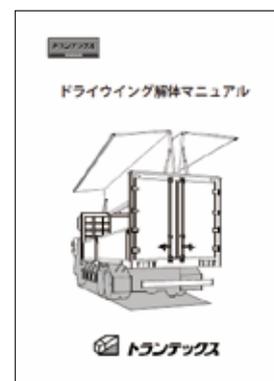


商品リサイクル

自動車リサイクル法の対象は乗用車・商用車(キャブ付シャーシ)と一部の架装物となっています。当社の商品であるドライバン、保冷・冷凍バン、ウイングバン等はリサイクル法の対象外ですが、リサイクル処理ができるように一部の商品につきましては解体マニュアルを作成し当社ホームページで情報提供しています。

【解体マニュアル対象商品】

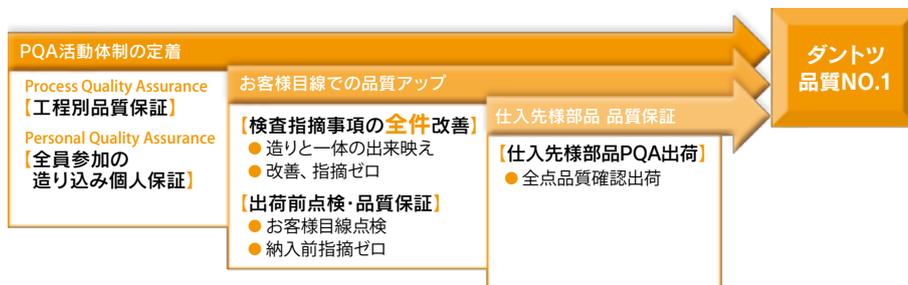
- ドライバン
- ドライウイング
- ウレタン注入発泡 保冷・冷凍バン
- ポリスチレン接着パネル 保冷・冷凍バン
- 冷凍ウイング
- 冷蔵ウイング
- 幌ウイング
- 平ポデー



## 品質マネジメント

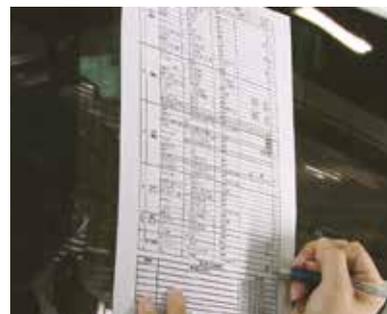
### 品質管理活動方針

当社では①PQA活動体制の定着②お客様目線での品質アップ③仕入先様部品質保証の3点を具体的な取組み方針とした「ダントツ品質NO.1」を品質管理活動方針としています。



### 品質管理体制

工程別品質保証をベースに、毎日開催する稼働会議（※）でも品質課題について関係者全員で共有しています。また、月1回、全役員が参加する品質会議も開催し、重要品質問題についての対応状況等について意見交換も実施しています。



（※）生産部門・生産管理部門・品質保証部門・開発部門の責任者が参加し、前日の生産状況を振り返り対応課題の明確化等を行う会議体。

## アフターサービス

### アフターサービスNO.1を目指して

アフターサービス部門ではお客様に商品をお届けした後も、定期訪問状況や有事発生時の対応状況を数値化し、アフターサービスNO.1に向けて活動をしています。また、お客様の身近な存在として全国の販売会社様および全国160を超えるSS店様と連携しながら、すばやく正確な修理を実施し、お客様にご満足いただけるアフターサービスを目指しております。

全国SS店  
160店



- ① 営業本部・北陸営業所
- ② サービス関東事務所
- ③ 東京事務所
- ④ 東海営業所
- ⑤ 関西営業所
- ⑥ 中・四国営業所
- ⑦ 九州営業所
- ⑧ 東北営業所

# 従業員

## 雇用促進

### 新規正社員雇用への取り組み

多様な人材を様々な年代・経歴から採用するため、新卒採用に加えて即戦力としての中途採用、そして期間従業員からの正社員登用を積極的に行っております。2018年度は大卒・高卒を含めた新卒採用で42名（女性8名含む）、中途採用で2名、期間従業員の正社員登用で14名の採用を行いました。

【新卒採用数の推移】



【中途採用数の推移】



【期間従業員の正社員登用数の推移】



【女性採用数の推移】



### 育児休暇の取得状況

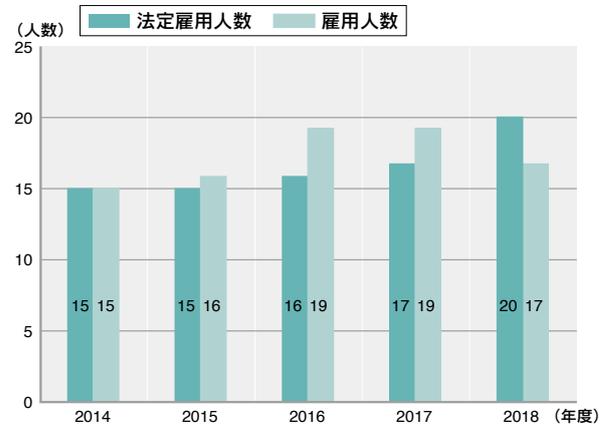
育児休暇の取得対象者37名に対して実際の取得者は3名でした。仕事と育児を両立して活躍できる職場づくりに向けて、より制度を利用しやすい職場環境づくりを進めていきます。

	人数
育児休暇を取得する権利を有していた従業員の総数	37名
育児休暇を取得した従業員の総数	3名

## 障害者雇用の状況

製造部門を中心に働きやすい環境整備を進め、積極的に障害者雇用を進めています。2018年度は障害者法定雇用人数20名に対して17名の雇用となっていますが、これからも一人でも多くの雇用・定着に繋がるように社内改善を進めるとともに各種団体のご支援を受けながら、取り組みを進めていきます。

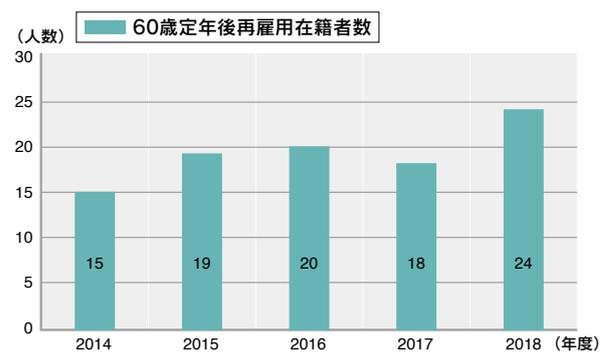
【障害者雇用人数の推移】



## 60歳定年後再雇用の状況

製造・設計・販売等の各段階で品質維持向上のため、技術に習熟し経験を積み重ねた従業員の確保が必要とされ、また一方で、60歳定年後もこれまで培った技術・経験を活かして働きたいという方にも安心して働ける職場の整備も必要となっています。当社では定年退職の再雇用を積極的に進めており、2018年度は24名を再雇用させていただいております。

【60歳定年後再雇用在籍者数の推移】



## 安全衛生・労使関係

### 安全衛生への取組み

当社は「安全は全てに優先する」を安全衛生基本理念に掲げ、総括安全衛生管理者をトップに、産業医と連携しながら「人への安全意識向上」「安全対策」「快適職場環境づくりの推進」「心身の健康管理」「通勤災害の防止」の5つの観点から各種取組みを実施し、自主自立の安全文化構築を進めています。2018年度の災害発生件数は9件、度数率は2.30となりました。引き続きゼロ災害達成に向けて全社をあげて取り組んでいきます。

#### 【2018年度の主な活動】

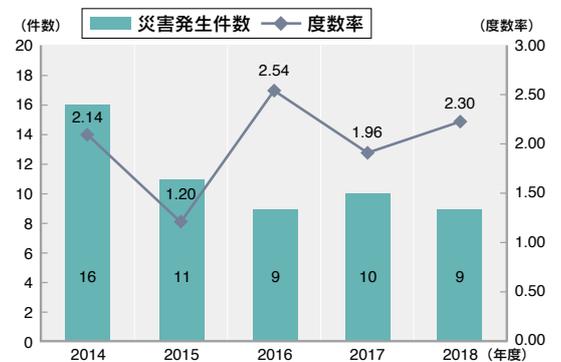
実施事項	
人への安全意識向上	危険撲滅やりきり活動の継続
	予防保全活動の継続実施
	安全プロセスシート活用による自己診断と弱みの改善
	工場内歩行ルール遵守活動
	安全人間づくり
安全対策	重災防止活動
	作業要領書の整備・教育
快適職場づくりの推進	熱中症対策の実施
心身の健康管理	定期健康診断結果に基づく健康指導
	メンタルヘルス対策の推進
通勤災害の防止	健康知識の習得
	交通ルール順守徹底

### 安全衛生基本理念

#### 「安全は全てに優先する」

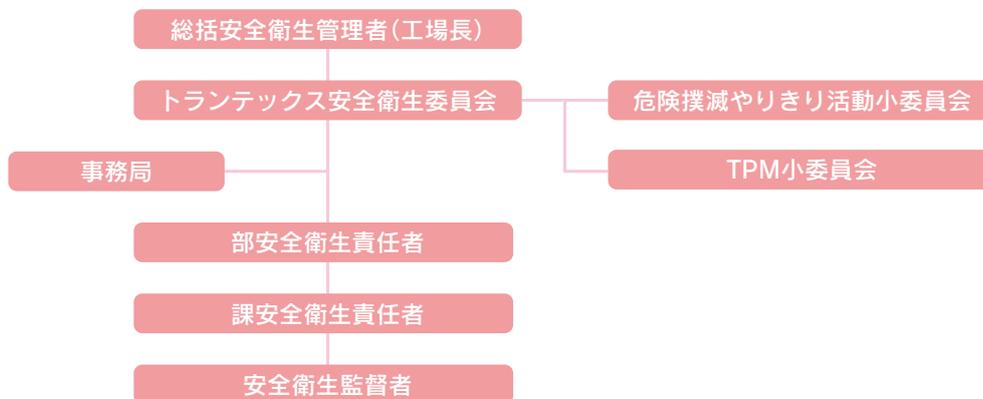
- 安全なくして、企業の発展なし
- ルールを守らずして、安全なし
- プロとしての自覚なくして、安全なし

#### 【災害発生件数と度数率】



### 安全衛生組織

当社では安全衛生活動を円滑に推進するためトランテックス安全衛生委員会を毎月1回開催しており、委員会構成メンバーは委員長1名（工場長）、副委員長2名（うち1名は労働組合委員長）、会社側選任の15名の従業員、労働組合側選任の15名の従業員、産業医1名、及び各子会社代表者となっています。また、トランテックス安全衛生委員会の下には2つの専門小委員会を設置し、効率的に且つ重点的に活動を行う体制を整備しています。



### 労使関係

トランテックスとトランテックス労働組合は定例の労使会議を持ち、様々な検討を重ね、労働条件の改善に努めています。また、労働組合側からの職場環境改善要求を通じて一歩ずつ改善を進めています。

## 人材育成

### 人材育成の取組み

当社従業員の共通の価値観として「私たちの志（情熱・挑戦・思いやり）」と「私たちの実行（創意工夫・進化・結束）」を掲げ、従業員のスキルや能力の開発・向上のため階層別研修や専門教育を実施しています。これからも従業員一人ひとりがもつ能力を十分に発揮できるように、社内教育の改善・充実を行っていきます。

#### 【トランテックス・スピリット】

私たちの志	私たちの実行
<p><b>情熱</b> 出来ない言い訳はしない。課題・問題を解決するため、全力を尽くして取り組みます。</p> <p><b>挑戦</b> 技能・能力を高めるため、自ら高い目標を掲げ挑戦します。</p> <p><b>思いやり</b> 後工程やお客様に満足していただくため、常に細心の心配りをします。</p>	<p><b>創意工夫</b> 品質向上のため、あらゆる知恵を絞り、スピード感を持って、自らが進んで改善を行います。</p> <p><b>進化</b> 今日よりも明日、より成長するため、何事にも自ら進んで行動します。</p> <p><b>結束</b> 組織力を高めるため、自ら進んで仲間と協力します。</p>

#### 【階層別教育体系】

	事務職	技術職	
部長クラス	部・次長クラス研修		
次長クラス			
課長クラス			
中堅クラス	係長・主任クラス研修		
			新任工長研修
			新任職長研修
			新任指導員研修
	QC研修		
	TWI研修		
新入社員	新入社員研修		

#### 【2018年度に実施した主な階層別研修】

	内 容	受講者数
階層別研修	新入社員研修・フォローアップ研修	36名
	新任管理職研修	17名
	ハラスメント研修	108名
部門別研修	製造部門 新任職長研修	16名
	製造部門 新任指導員研修	32名
	製造部門 TPS研修	34名



# 環 境

## 環境マネジメント

### 環境基本方針

トランテックスは地球環境の保全を経営における最重要課題の1つであるとの認識のもと、2003年10月、企業理念に基づく「トランテックス地球環境憲章」を制定し、環境保全活動を積極的に進めています。

#### ■基本方針

##### 1. 地球環境の保全を総合的かつ長期的に進める

地球環境問題は、重要かつ深刻であるとともに、自動車は広い範囲でこの問題に関わっているとの認識のもとに、全社を挙げて、仕入先等の関係者とも協力して、開発から生産、販売、使用、廃棄に至る全ての段階における環境への影響を考慮した環境保全のための対策を、長期的視点に立って推進する。

##### 2. 地球環境の保全を広い視野で身近な行動から進める

豊かで住みよい地球をめざして、事業活動の範囲内だけでなく、社会においては良き市民として、地域社会においては良き隣人として、環境保全のための行動を進める。

#### ■行動指針

##### 1. 環境負荷のより小さい事業活動をめざす

- 工場・事業所の立地における環境への配慮
- 地球環境にやさしいトラックボデーの開発
- 排出物を極力出さない生産活動
- 省エネルギーと省資源、リサイクルの推進

##### 2. 関係者と協力しながら進める

仕入先、関係会社等と協力し、事業活動の様々な段階において、また、事業所の内と外とにおいて、環境保全に努める。

##### 3. 社会への貢献を心がける

社会においては良き市民として、また、地域社会においては良き隣人として、社会や地域における環境保全の諸活動に協力する。

##### 4. 自己啓発を図る

社会に対して開かれた企業として、また、企業人であるとともに良き市民として、地球環境問題に関して広く社会に学び、会社ならびに社員ともに自己啓発を図る。

### 本社・工場環境方針

本社・工場では基本理念、トランテックス地球環境憲章及びトランテックス地球環境行動計画等を受けて、本社・工場の環境に与える影響（著しい環境影響）、関連法規、利害関係者との関係等を配慮し、継続的改善及び汚染の予防のための基本方針（行動原則）として、本社・工場環境方針を定めています。

トランテックスは、トラックボデーなどの開発・生産・販売・サービスを通じて、環境に与える影響を常に認識し、白山の豊かな自然や社会と調和する企業を目指して、全員参加で環境保全活動を推進します。

1. 私たちは、環境管理システムの効果的な運用と継続的改善をはかり、環境汚染の予防に努めます。
2. 私たちは、環境に関する法規制や私たちが守ると約束した協定・指針などを遵守し、社会とのつながりを大切にします。
3. 私たちは、環境への排出物や廃棄物を抑え、リサイクルを推進し、エネルギーや資源の効率的な利用を進めます。
4. 私たちは、環境に負荷を与える有害な物質の使用量を減らし、ライフサイクルを考慮した環境に優しい製品の開発を進め、提供します。

### ISO14001認証取得

当社は2002年3月にISO14001の認証取得し、現在は2015版に基づき活動しています。

- 組織名 株式会社トランテックス
- 事業所名 本社及び工場（石川県白山市徳丸町670番地）
- 対象業務 トラック車体の開発・設計・製造
- 事業所名 山島モータープール（石川県白山市矢頃島町1025番地）
- 対象業務 完成車の出荷業務

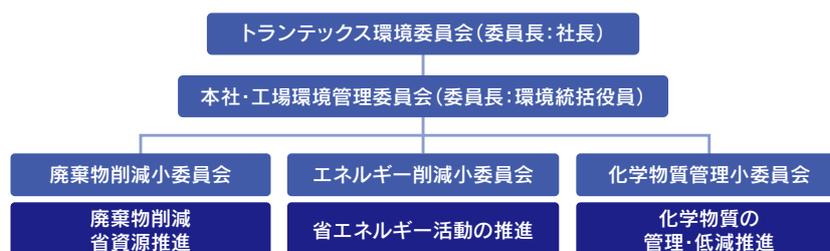
環境目標と実績

【2018年度環境活動実績】

項目	活動内容	活動実績	関連頁								
自然共生社会の構築 環境保全と	<b>生産活動における環境負荷物質の低減</b> <b>VOCの低減</b> ●VOC低減塗料の導入	●トルキシルフリー塗料の導入検討を進めるが、切替には至らず  <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>2018年度目標</th> <th>2018年度実績</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>VOC原単位 (g/m<sup>3</sup>)</td> <td>86.5</td> <td>84.6</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	項目	2018年度目標	2018年度実績	評価	VOC原単位 (g/m <sup>3</sup> )	86.5	84.6	○	P20
	項目	2018年度目標	2018年度実績	評価							
VOC原単位 (g/m <sup>3</sup> )	86.5	84.6	○								
	<b>自然共生社会構築に資する社会貢献活動の推進</b> ●社会貢献活動の実施	●「クリーンビーチいしかわ」海岸清掃イベントに参加 ●本社工場周辺清掃活動の実施	P24								
低炭素社会の構築	<b>生産活動における省エネ活動の徹底と温室効果ガス排出量の低減</b> <b>生産CO<sub>2</sub>の低減</b> ●生産性改善による工場稼働時間短縮 ●高効率設備・機器への更新 ●エアコン消費電力低減	●工場部門を中心とした生産性改善実施 ●電着塗装設備の電極更新 ●エアコンへの省エネ機器の設置  <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>2018年度目標</th> <th>2018年度実績</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生産CO<sub>2</sub>原単位 (CO<sub>2</sub>-ton/台)</td> <td>0.335</td> <td>0.347</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	項目	2018年度目標	2018年度実績	評価	生産CO <sub>2</sub> 原単位 (CO <sub>2</sub> -ton/台)	0.335	0.347	×	P20
	項目	2018年度目標	2018年度実績	評価							
生産CO <sub>2</sub> 原単位 (CO <sub>2</sub> -ton/台)	0.335	0.347	×								
	<b>物流活動における輸送効率の追求とCO<sub>2</sub>排出量の低減</b> <b>物流CO<sub>2</sub>の低減</b> ●効率的な完成車輸送	●効率的な完成車輸送の実施  <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>2018年度目標</th> <th>2018年度実績</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>物流CO<sub>2</sub>原単位 (CO<sub>2</sub>-千ton/トンキロ)</td> <td>0.0676</td> <td>0.0677</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	項目	2018年度目標	2018年度実績	評価	物流CO <sub>2</sub> 原単位 (CO <sub>2</sub> -千ton/トンキロ)	0.0676	0.0677	×	P20
項目	2018年度目標	2018年度実績	評価								
物流CO <sub>2</sub> 原単位 (CO <sub>2</sub> -千ton/トンキロ)	0.0676	0.0677	×								
循環型社会の構築	<b>生産・物流における廃棄物の低減と資源の有効利用</b> <b>廃棄物の低減</b> ●ブース汚泥の削減	●トライ実施するも削減効果なし  <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>2018年度目標</th> <th>2018年度実績</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>廃棄物CO<sub>2</sub>原単位 (ton/台)</td> <td>0.0978</td> <td>0.0980</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	項目	2018年度目標	2018年度実績	評価	廃棄物CO <sub>2</sub> 原単位 (ton/台)	0.0978	0.0980	×	P20
	項目	2018年度目標	2018年度実績	評価							
	廃棄物CO <sub>2</sub> 原単位 (ton/台)	0.0978	0.0980	×							
<b>物流梱包包装材の低減</b> ●メール便活用 ●梱包材簡素化	●メール便の積極的活用 ●梱包材簡素化の推進と徹底  <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>2018年度目標</th> <th>2018年度実績</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>梱包材原単位 (ton/百万円)</td> <td>0.0317</td> <td>0.0313</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	項目	2018年度目標	2018年度実績	評価	梱包材原単位 (ton/百万円)	0.0317	0.0313	○		
項目	2018年度目標	2018年度実績	評価								
梱包材原単位 (ton/百万円)	0.0317	0.0313	○								
<b>水使用量の低減</b> ●電着塗装工程での水使用低減	●生産性改善による使用量削減  <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>2018年度目標</th> <th>2018年度実績</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水使用量原単位 (m<sup>3</sup>/台)</td> <td>10.7</td> <td>12.7</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	項目	2018年度目標	2018年度実績	評価	水使用量原単位 (m <sup>3</sup> /台)	10.7	12.7	×		
項目	2018年度目標	2018年度実績	評価								
水使用量原単位 (m <sup>3</sup> /台)	10.7	12.7	×								
環境経営	<b>環境教育活動の充実と推進</b>	●各部署での教育実施	P19								
	<b>環境情報の積極的な開示とコミュニケーションの充実</b>	●CSRレポート発行 ●近隣町内会役員の方を交えての地域懇談会開催 ●工場見学の受入れ	P24								
	<b>異常苦情ゼロ・リスクの最小化</b>	●環境管理者による定期パトロール ●環境リスクへの計画的な対応	—								
	<b>環境マネジメント</b>	●環境監査実施 ●環境コスト把握 ●PCB廃棄物の適正処理 ●地下水保全	P18・19								

## マネジメント推進体制

トランテックスは環境保全を推進するため、全社的組織として社長を委員長とする「トランテックス環境委員会」を設置し、基本方針の決定と諸活動の総合推進を図っています。また、下部組織として本社・工場環境管理委員会と3つの専門委員会を設置し、本社・工場環境管理委員会は、原則毎月開催とし各種課題の進捗管理・検討・審議等を行っております。また、3つの専門委員会は、事業活動による環境負荷の低減として大きな課題であるCO<sub>2</sub>低減・VOCなどの化学物質低減・廃棄物低減などの個別の専門テーマに対して、部門横断的な視点からアプローチをしております。



## 環境保全コスト

環境保全コストおよび効果を定量的に把握し、環境保全活動に効果的かつ継続的に取り組むため、環境会計に取り組んでいます。尚、環境保全コストは①投資額は対象期間の投資のみとする②経費の中に減価償却分は含めない③環境保全以外の目的を含んでいる設備投資や費用については、環境対応分が明確に把握できるもののみ計上することとしました。環境保全対策にともなう経済効果については、把握可能な項目のみ集計しました。

[単位:百万円]

### 【2018年度の環境コストの集計結果】

		2016年度		2017年度		2018年度	
		投資額	費用	投資額	費用	投資額	費用
事業エリア内コスト	公害防止コスト	31.7	7.6	120	7.2	79	7.5
	地球環境保全コスト	-	-	44.5	-	6.3	-
	資源循環コスト	-	89.3	-	93.3	-	92.6
	計	31.7	96.9	164.5	100.5	85.3	100.1
上・下流コスト		-	-	-	-	-	-
管理活動コスト	EMSの整備、運用	-	1.7	-	1.5	-	1.1
	環境測定	-	3.5	-	3.6	-	3.8
	従業員の教育	-	-	-	-	-	-
	景観保持	-	-	-	-	-	-
研究開発コスト		-	-	-	-	-	-
社会活動コスト		-	-	-	-	-	-
環境損傷対応コスト		-	-	-	-	-	-
合計		31.7	102.1	164.5	105.6	85.3	105.0

### 【2018年度の経済効果の集計結果】

[単位:百万円(ーは十万円未満)]

経済効果	2016年度	2017年度	2018年度
リサイクルによる事業収入	57.3	115.8	117.6
省エネルギーによるエネルギー費の節減	-	1.1	0.6
省資源又はリサイクルに伴う廃棄物処理費の削減	-	0.2	-

### 【2018年度の物流効果の集計結果】

物流効果	2016年度	2017年度	2018年度
二酸化炭素 (t-CO <sub>2</sub> )	160.5	-	267.5
廃棄物総排出量低減 (t)	175	-	7.7
PRTR対象物質排出量・移動量削減 (t)	2.3	-	-

## 環境監査

環境マネジメントシステムの適合性・有効性を客観的に評価するため環境内部監査を行い、監査で取り上げられた事項はマネジメントシステム改善に活用しています。また、国際システム審査株式会社に外部審査を委託し、第三者の立場で評価をいただいております。



内部監査



外部審査

## 環境教育・訓練

環境教育として各所属長を対象とした管理者研修、各職場単位での研修、新入社員研修を行っています。また、環境事故は環境汚染につながるだけでなく、近隣住民の方々や生産活動にも大きな影響を及ぼす可能性があることを再確認するため、各職場単位で毎年、緊急時対応訓練を実施しています。これからも継続的に実施し、環境意識の高い職場作りを進めていきます。

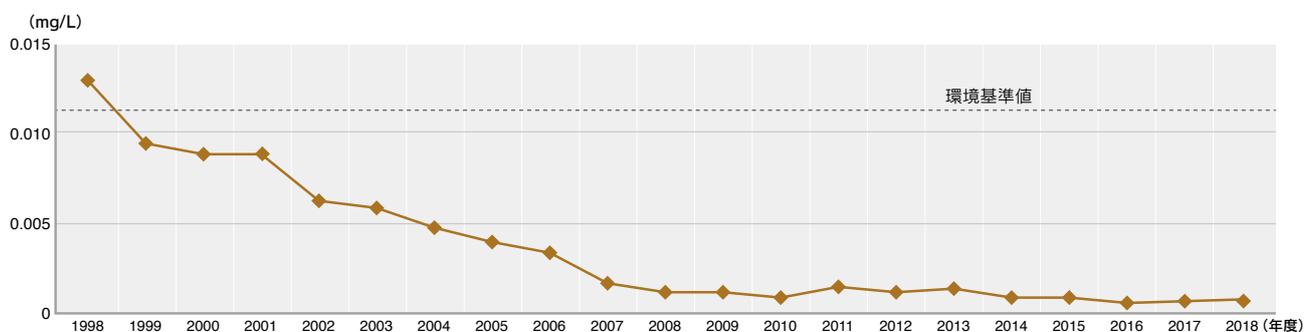


## PCB廃棄物の保管と処理

現在、微量PCB含有廃棄物を適正に保管しており、今後、国の認定を受けた処理施設で計画的に処理を行っていきます。

## 地下水保全への取り組み

当社では過去に有機塩素系化合物であるテトラクロロエチレンを使用しており、1996年に使用を全廃しましたが1998年に本社・工場敷地内の1ヶ所で環境基準を上回るレベルが確認されました。1998年以降行政指導の下、積極的に浄化対策を進めており、土壌内の汚染ガスの吸引及び地下水揚水による浄化対策の結果、濃度は低位で安定しております。



## 環境パフォーマンスデータ

【生産CO<sub>2</sub>】



【物流CO<sub>2</sub>】



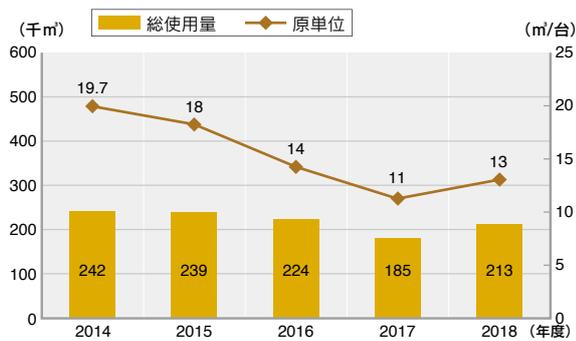
【廃棄物】 ※ 1



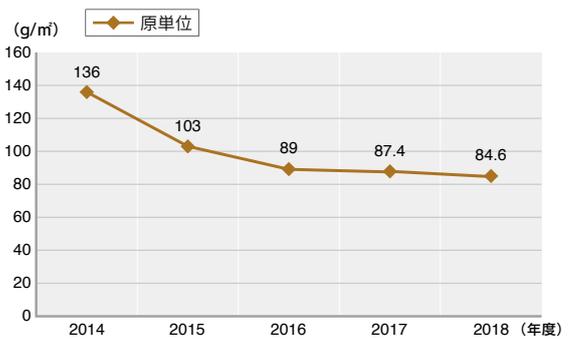
【物流梱包包装資材】



【水使用量】



【VOC】 ※ 2



(※1) 廃棄物=逆有償リサイクル+焼却+埋立

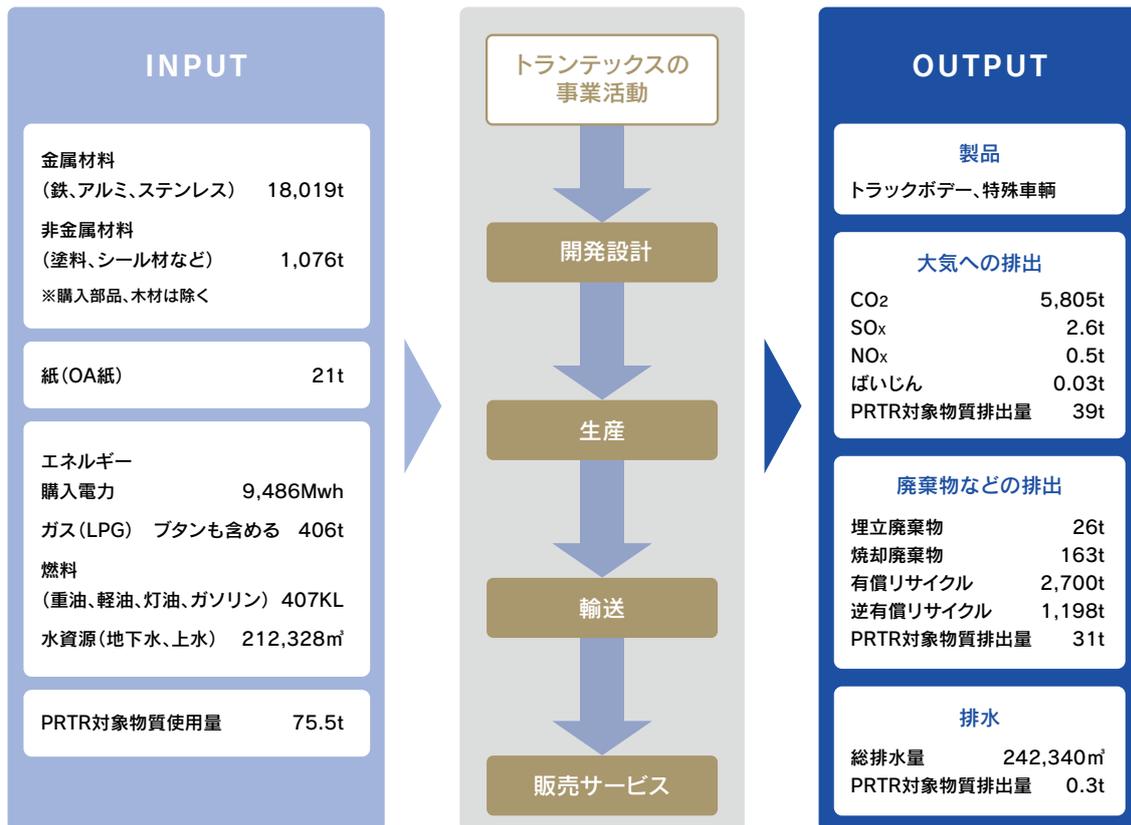
(※2) VOC (Volatile Organic Compounds): 揮発性有機化合物

## 事業活動と環境影響

### 事業活動と環境影響

事業活動における投入資源（インプット）と排出による環境負荷（アウトプット）を定量化し、環境への影響を把握して、環境負荷低減活動に活用しています。

#### 【事業活動における2018年度の投入資源と環境への排出】

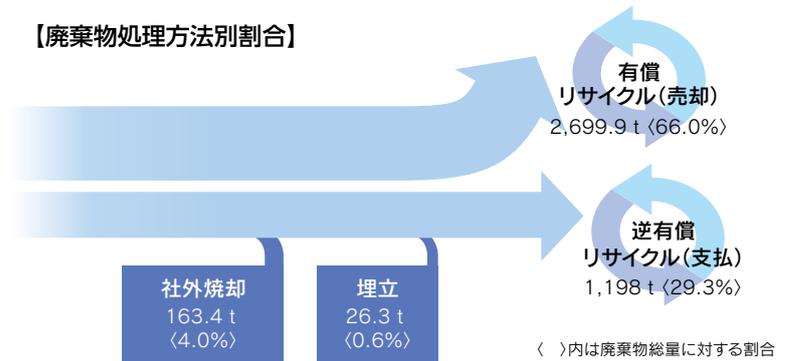


PRTR (Pollutant Release and Transfer Register) : 有害化学物質排出・移動登録制度  
 SOx : 硫黄酸化物 NOx : 窒素酸化物

## 廃棄物の処理方法種類と割合

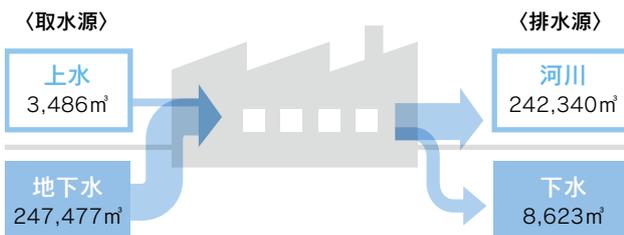
工場内で発生する廃棄物については限りある資源を有効活用していく観点から、地道な活動を通して焼却処理や埋立処理からリサイクル処理へのシフトを進めています。

【廃棄物処理方法別割合】



## 水源別取水量と排水先

工場内で使用される水は主に塗装工程や検査工程で使用されており、地下水でまかなっています。使用後は廃水処理設備で適正な水質に戻してから河川放流しており、定期的に外部の専門業者に依頼して水質検査を行い異常がないことを確認しています。

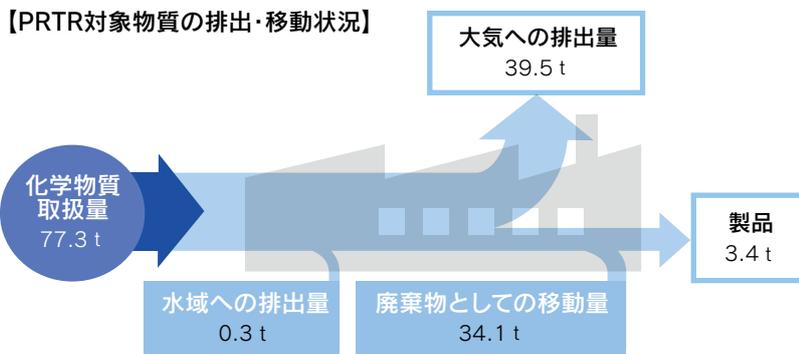


項目	法基準値	2018年度測定値 (年間最高値)
PH	5.8以上8.6以下	6.5-6.8
BOD	30 mg/L以下	18
COD	-	12
SS	110 mg/L以下	1未満
n-ヘキサン動植物油	30 mg/L以下	1未満
n-ヘキサン鉱油類	5 mg/L以下	1未満
亜鉛	2 mg/L以下	0.7
溶解性マンガン	10 mg/L以下	0.8
鉛	0.1 mg/L以下	0.01未満
六価クロム	0.5 mg/L以下	0.05未満
フッ素	8 mg/L以下	0.3
窒素	-	2.8
リン	-	0.05
アンモニア・アンモニウム化合物亜硝酸化合物および硝酸化合物	100 mg/L以下	4.8

## 大気・水質への化学物質の影響

当社では大気・水質に影響を与える化学物質を含む塗料や接着剤等を使用しており、自主的な活動はもちろん、各仕入先様と協力しながら取扱量を減らす努力を続けています。また2008年生産分から商品に含まれる環境負荷物質(\*)全廃を行い、現在は購入する材料・部品の環境負荷物質の有無を事前に確認する体制をとっています。(お客様指定品や一部機器は除きます。)

【PRTR対象物質の排出・移動状況】



温室効果ガス使用量 (kg)	
HFC125	202.4
HFC134a	279.2
HFC143a	18.4

(\*) 4重金属を含む11禁止物質  
 鉛 (Pb)  
 水銀 (Hg)  
 カドミウム (Cd)  
 六価クロム (Cr+6)  
 アスベスト  
 PBB (ポリ臭素化ビフェニル)  
 PBDE (ポリ臭素化ジフェニルエーテル)  
 テカBDE (テカ臭素化ジフェニルエーテル)  
 HBCD (ヘキサブロモシクロドデカン)  
 PFOS (パーフルオロオクタンスルホン酸)  
 DMF (フマル酸ジメチル)

# 調 達

## 基本的な考え方

当社は当社の製品が業界トップの位置を確保できるよう、仕入先の皆様と協力して、ともに発展していくことをめざしています。仕入様には、コスト・品質・納期の最高レベル実現に向けた調達方針を提示するとともに公正な取引の維持を心がけています。

## 仕入先様との交流

当社では毎月、仕入先様と仕入先会議を開催し、生産計画の情報提供と品質アップのための仕入先様による品質改善事例発表会を行っています。その他、工場内および周辺での交通ルールの遵守やマナー向上の呼びかけなど、地域社会との共生に係わることについても展開を行っています。

また、毎年1回、仕入先総会を開催し、当社の年度方針・調達方針を共有しています。また年間を通じて原価改善活動や品質管理活動にご功績のあった仕入先様を表彰させていただいております。



仕入先総会の様子

## 調達方針

当社の商品が、最高の価格競争力を確保できるように、広く世界に門戸を開き、最適な仕入先を選定することにより、

1. ミニマムな価格
2. 最高の品質
3. タイムリーな納期

を実現し、商品の拡販と当社の収益拡大に貢献する。

# 社会貢献活動

定期的なボランティア活動や近隣の方々との交流を通じて、地域に貢献し、地域に密着した企業を目指していきます。

## 清掃活動

地域貢献活動として、石川県海岸全域の清掃活動「クリーンビーチいしかわ in はくさん」への参加と工場周辺の清掃活動を継続的に行っています。年1回開催されるクリーンビーチいしかわには毎回100名程度が参加し、また原則毎月実施している工場周辺清掃活動には、毎回多くの従業員が参加し環境美化を進めています。今後も地域イベントへの積極的な参加や実施を続け、環境美化に貢献していきたいと考えております。



工場周辺清掃活動



クリーンビーチいしかわ

## 会社見学の受入れ

15団体で合計570名の方に会社見学にお越しいただきました。小学生はものづくりを学ぶ社会科学習として、中・高校生は将来、製造業で働くことを選択肢として考えるきっかけとして、また、各種団体様は様々な学習目的の一環としてご利用いただいております。これからもご来社いただく方々のご一助となれますよう、積極的に取り組んでまいります。

### 【2018年度 会社見学受入内訳】

名称	受入団体数	受入人数
小学校	4団体	131名
中学校	1団体	42名
高等学校	6団体	313名
その他団体	4団体	84名

## 地域懇談会の開催

毎年、近隣町内会の役員様をお招きして地域懇談会を開催し、事業紹介や環境への取組み事例紹介、工場見学を通じて会社への理解を深めていただいております。2018年度は近隣4町内会から10名の方にお越しいただき、忌憚のない意見交換をさせていただきました。地域社会とのよりよい関係作りを進めていくため、今後も定期的に開催していきます。



# コンプライアンス

当社ではコンプライアンスの実践を経営の重要課題の1つと考えており、全社的なコンプライアンス風土醸成に向けた取組みを継続的に実施し、あらゆる場面で公正な判断・活動ができる企業集団を目指しています。

## 「トランテックス行動指針」

「トランテックス行動指針」は、基本理念の内容を受けて、各ステークホルダーの皆様の期待に応えるために「社員一人ひとりがどう行動すべきなのか」を具体的に明記した内容となっております。

私たちは、この「トランテックス行動指針」を日々の業務の手引書として活用し、また合わせてコンプライアンスガイドブックを活用することで、法令順守を徹底していきます。そして、各ステークホルダーの皆様の期待にお応えしたいと考えています。



## コンプライアンス教育

定期的なコンプライアンス教育を行い、問題発生への未然防止とルールを守る職場風土づくりをしています。また取り扱う題材は業務に関連が深いものや、近時のトピックスを中心とするように工夫し、コンプライアンス問題未然防止に向けたレベルアップを図っています。今後も継続してコンプライアンス教育を行い、コンプライアンス違反が発生しない職場づくりを行っていきます。

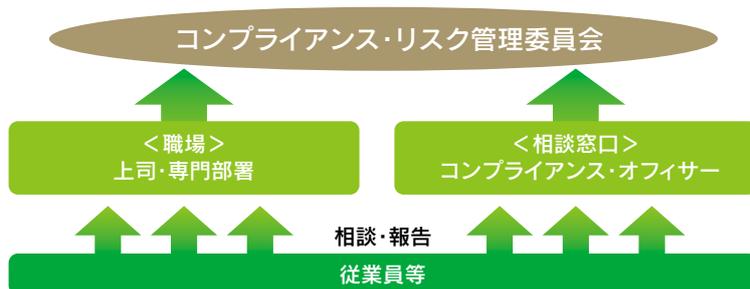


対 象	内 容
役員・管理職	グループ課題と取り組み内容
全従業員	情報セキュリティ、ハラスメントなど
営業担当者	下請法、贈収賄防止など
サービス担当者	下請法、贈収賄防止など

## コンプライアンス相談窓口

従業員がコンプライアンスに関する問題に遭遇した場合、職場を補完する相談先としてコンプライアンスオフィサーを設置し、社内への周知を図っています。従業員は直通の電話またはE-mailにてコンプライアンスオフィサーに直接相談・報告することができます。また、日野グループとして、外部の法律事務所への相談窓口も設けています。

### 【参考：従業員の相談・報告ルート】



# コーポレートガバナンス

当社は基本理念に基づき、各ステークホルダーの皆さまの期待と信頼に応えるため、コーポレートガバナンスの強化を経営の最重要課題の1つと考えております。具体的には経営の透明性を確保するため、株主総会・取締役会・監査役協議会・会計監査人等の機関設置を行い、また迅速な環境変化への対応と意思決定を図るため、経営判断に基づく業務執行レベルの判断を行う執行役員会を毎週開催するなどの体制を構築しております。

## 取締役会

会社法で定める重要事項や経営に係わる重要事項の審議決定機関として、原則毎月1回開催しています。また、取締役の任期は、経営責任を明確にするため1年とし、非常勤取締役を1名選任しております。

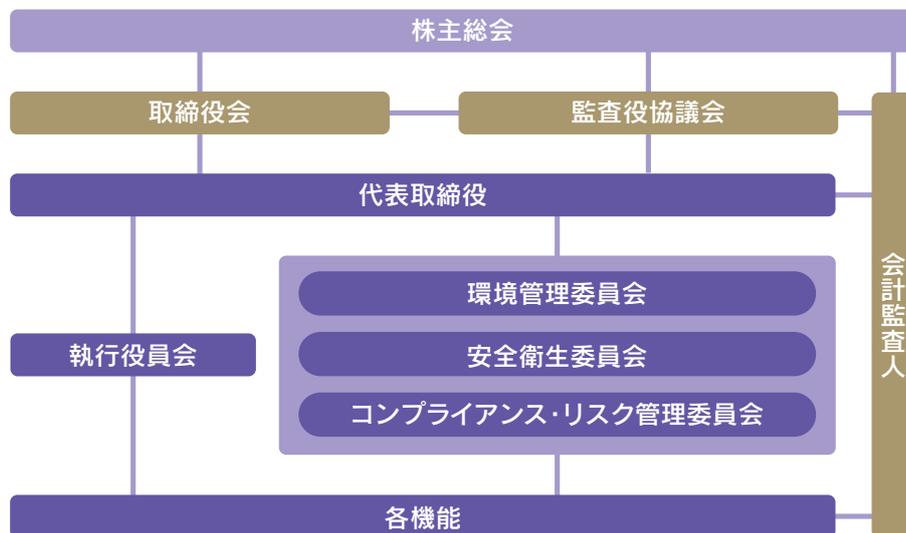
## 監査役協議会

取締役会の監督機能をより強化するため、常勤監査役以外に2名の非常勤監査役を選任しております。

## 会計監査人

2018年度はPwCあらた有限責任監査法人を選任いたしました。

【コーポレートガバナンス体制図】



## 編集にあたって

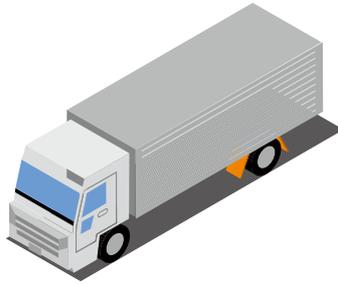
本レポートは、当社を取り巻くステークホルダーの皆様にご覧いただき、当社の活動を深く理解していただき、さらなる信頼をいただくことを目的としています。お読みいただいた皆様とのコミュニケーションツールとして、わかりやすく表現するよう心がけました。

## 対象範囲・対象期間

原則として2018年度（2018年4月～2019年3月）の実績や取り組みを対象としております。但し、一部の内容については、本レポート発行直前までの活動も記載しています。

## 参考ガイドライン

- ・環境省「環境省ガイドライン（2018年度版）」
- ・GRIスタンダード（Global Reporting Initiative）



## Corporate Social Responsibility Report 2019

本報告書の内容や当社の環境への取組みなどについて、ご意見、ご質問などがございましたら、下記までお問合せください。

株式会社 **トランテックス** 総務・人事部

〒924-8580 石川県白山市徳丸町670番地  
TEL(076)274-2806 FAX(076)274-8191

ホームページアドレス <http://www.trantechs.co.jp/>

発行日 2020年2月

※この報告書はトランテックスホームページ上でもご覧いただけます。



古紙配合率100%再生紙を使用しています

